

# セーフティアシスタント手帳



(公財) 日本ラグビーフットボール協会

## 目 次

1. セーフティーアシスタント制度 ……………	2
2. セーフティーアシスタントの役割 ……………	3
3. 一般目標及び教育目標 ……………	3
4. セーフティーアシスタントの任務 ……………	4
5. セーフティーアシスタントの服装及び所持品 …	5
6. セーフティーアシスタントに必要な対応 …	5
7. セーフティーアシスタント認定までの流れ …	10
8. セーフティーアシスタント制度の管理 ……	11
9. 参考資料 ……………	12
10. 日本協会及び地域協会一覧 ……………	16

## セーフティーアシスタント制度

### 第 6 条 A 5 (a)

#### Entering or leaving the playing area

Authorised medically trained persons may enter the playing area during the match to attend to injured players. They must only enter the playing area if it is safe to do so.

許可の出ている医療的訓練を受けた者は、試合中、負傷したプレーヤーを救護するために競技区域に立ち入ることができる。ただし、立入りが安全な場合に限る。

\*競技規則第 6 条 A5(a) 競技区域への出入りに基づき、レフリーが試合中の競技区域内に入る許可を与えるものとしてセーフティーアシスタント制度を導入する。

## セーフティーアシスタントの役割

セーフティーアシスタントは、試合の進行を円滑にし、プレーヤーの安全を図る。

\*この役割を十分に認識した上で行動すること。

## 一般目標

ラグビーを理解し、試合の円滑な進行を図り、プレーヤーの安全を保つために必要なことを習得する。

## 教育目標

1. セーフティーアシスタント制度の歴史的背景、関連する競技規則及び資格について理解する。
2. セーフティーアシスタントとしての役割、服装、所持品について理解する。
3. セーフティーアシスタントとして必要な医学的基礎知識を学習する。

## セーフティーアシスタントの任務

1. 試合の前にレフリーにセーフティーアシスタント認定証(手帳含む)を提示し、セーフティーアシスタントであることを告げレフリーの指示に従う。
2. 負傷者が出たと判断した場合、直ちに競技区域内に入り、試合の継続を妨げないようにすみやかに負傷者の所に行く。
3. 負傷が軽度な場合は、その場で処置を行う。処置が長引くようであれば、競技区域外にプレーヤーを出して処置を行う。競技区域外に出たプレーヤーがプレーに復帰するときには、レフリーにその旨告げ許可を得なければならない。「軽度の負傷」とは、軽度の打撲やすり傷など簡単な処置後、直ちにプレーに復帰できるものをいう。
4. 軽度の負傷でないと判断した場合、直ちにレフリーに手をあげて知らせ、レフリーの指示に従う。

## セーフティーアシスタントの服装、及び所持品

セーフティーアシスタントとしてその任務を行なう場合には、基本的にトレーニングウェアの上下(ウインドブレーカーは可)及びそれに準じる靴を着用し、試合中は協会指定のビブス等を必ず身に付ける。

所持品は、水、氷、タオル、綿、テーピング用テープ、包帯などその他応急処置をするうえで最低限の必需品を持参する。

状況に応じては、担架、副木など救急用品はグラウンド外に準備して置くことが望ましい。

## セーフティーアシスタントに必要な対応

セーフティーアシスタントが競技区域内で行なう対応は、1. 軽度の負傷に対する処置と、2. 負傷が軽度でないと判断した場合にはレフリーに知らせることである。

1. 軽度の負傷に対する処置  
軽度の負傷とは、簡単な処置にて、プレー

に復帰可能な程度の負傷である。

### 1) 軽度の外傷

打撲やひねりによる症状を軽減するため、スプレーや水、氷などにより負傷部位を冷やす。短時間のうちに症状が軽減したら、プレーに復帰させる。

### 2) 擦過傷(すり傷)

擦過傷などでは、水で負傷部位を洗浄するとともに清潔なタオルなどでふく。傷が深くないことを確認し、プレーに復帰させる。必要があれば、ガーゼやテープなどで傷口を保護する。傷が深い場合や出血が止まりにくい場合は、退場させ処置する。退場させた後にプレーに復帰させる場合は、レフリーの許可を得なければならない。

### 3) 出血した際の競技規則上の扱い

#### [一時的交替]

競技規則第3条10(a) プレーヤーが抑えられない出血を伴う負傷をした場合(出血を伴う負傷)、そのプレーヤーの一時的交替を認める。負傷したプレーヤーは、出

血が抑えられたら、および/または、覆われたらただちに、プレーに戻らなければならない。一時的に交替されたプレーヤーが競技区域から出て経過時間15分以内にフィールドオブプレーに戻ることができない場合、一時的交替をしたプレーヤーは正式な交替となる。元の一時的に交替されたプレーヤーはフィールドオブプレーに戻ってはならない。

#### [再度試合に戻ることを望むプレーヤー]

競技規則第3条11(a) 抑えられない出血を伴う負傷をしたプレーヤーは、競技区域から退出しなければならない。出血がおさまり傷口が覆われるまで戻ってはならない。

(b) 負傷またはその他の理由により退場したプレーヤーは、レフリーから戻る許可を受けるまで再び試合に加わってはならない。レフリーは、ボールがデッドになるまで試合に加わらせてはならない。

## 2. 負傷の程度の判断

負傷の程度が中等度以上である場合には、

セーフティーアシスタントの職務を超えたものである。したがって、負傷の程度が中等度以上であると判断した場合は、ただちにレフリーに手をあげて知らせなければならない。とくに以下の場合には、慎重に対応する必要がある。

#### 1) 頭部外傷

頭部打撲については、生命の危険があることを認識して対応しなければならない。タックルなどの後で倒れているプレーヤーはあわてて動かさず、まず倒れたままの状態意識の有無をチェックする。ラグビー外傷・障害対応マニュアル16ページ「脳震盪・脳震盪の疑いの取り扱い」に従い、競技中止に際しては直ちにレフリーに知らせる。

#### 2) 頸部損傷

頸部損傷も慎重に対応しなければならない。スクラムやタックル後でプレーヤーが倒れた場合は、頸部損傷の有無を確認しなければならない。ラグビー外傷・障害対応マニュアル23ページ「頸部外傷のフロー

チャート」に従い、競技中止に際しては直ちにレフリーに知らせる。

#### 3) 関節損傷

関節特に膝関節を負傷した場合は、その後のラグビー活動に影響が大きいので慎重に対処し、無理をさせないようにする。とくに、痛みが激しい場合や不安定感を訴える場合には注意を要する。

#### 4) その他

上記以外の負傷の場合で、「軽度の負傷」の程度を越えているものであると感じた場合は、無理をせず慎重に対処する。

\*セーフティーアシスタントの外傷における基本的知識については、ラグビー外傷・障害対応マニュアルに記載されている事項を熟知し習得しておくことが必要である。

## セーフティーアシスタント認定までの流れ

セーフティーアシスタント認定講習会を受講し、講習修了後、所定の手続きを経たものへ、セーフティーアシスタントとして日本協会が認定する。

### 受講条件

- 1) ラグビー競技の現場における安全管理を志すもの、または担うもの
- 2) 年齢は 15 歳以上であること。
- 3) ラグビー競技を理解し、セーフティーアシスタント職務を行える身体であること。
- 4) ラグビー競技で生じやすいスポーツ外傷・障害について基礎的な事項を理解していること。

### 受講条件についての解説

- 2) について 中学生以下は不可。
- 3) について ルールを正確に理解し、又ゲームの流れをある程度推察でき、状況に応じて機敏に行動できる能力ならびに身体を有するもの。
- 4) について 講習会等において、スポー

ツ外傷・障害についての基礎的知識を習得し、それを実践できる能力を有すること。

## セーフティーアシスタント制度の管理

1. セーフティーアシスタント制度の運営、管理（名簿整理、認定証発行、ビブス等の管理等）、育成は日本協会及び各都道府県の安全対策委員会が執行する。
2. 協会登録のチームにおいては、1名以上のセーフティーアシスタントを配置しなければならない。
3. IRB 第 10 条医学的関連事項については、「年鑑（チーム名簿）」を参照すること。
4. 認定の有効期限は発行より 4 年とし、更新は日本協会が指定する安全対策にかかわる各種講習会を受講するものとする。

## 参 考 資 料

「ラグビー外傷・障害対応マニュアル」



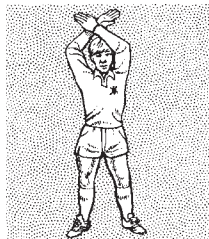
<http://www.rugby-japan.jp/about/committee/safe/injury2.pdf>

上記は、セーフティアシスタントの皆様には是非とも読んで頂きたい小冊子です。いつも手元に保管しておいて下さい。



### 医務心得者と呼ぶ場合

一方の腕を頭の上に上げ、負傷したプレーヤーのため医務心得者が必要であることを示す。



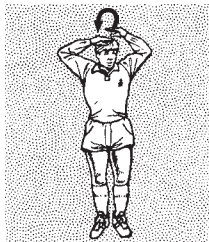
### プレーヤーが出血した場合

両腕を頭の上でクロスさせ、プレーヤーが出血したことを示す。



### 医師を呼ぶ場合

両腕を頭の上に上げ、負傷したプレーヤーのため医師が必要であることを示す。

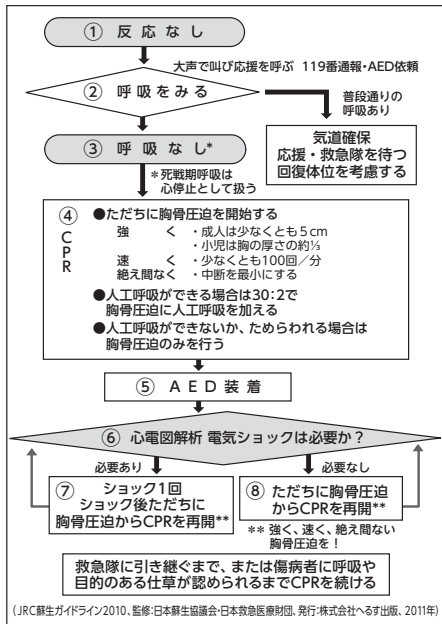


### プレーヤーの交代が必要な場合

両腕を頭の上に上げ、両手をグルグル回し、負傷したプレーヤーの交代が必要であることを示す。



年月日	講習名	講習内容	印



## 日本協会及び地域協会一覧

### 日本ラグビーフットボール協会

〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35

☎ (03) 3401-3321

---

### 関東ラグビーフットボール協会

〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35

☎ (03) 3423-4421

---

### 関西ラグビーフットボール協会

〒530-0022 大阪市北区浪花町 1-23

第10新興ビル8階

☎ (06) 6376-0456

---

### 九州ラグビーフットボール協会

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴3-7-13

大禅ビル3階

☎ (092) 715-8172

発行 公益財団法人  
日本ラグビーフットボール協会

令和元年 8月2日

印刷所 株式会社 ダイワクリエイト

〒162-0801 東京都新宿区山吹町353番地1  
Y-1ビル ☎ (03) 3267-2125

